

鐵道省建設局長

八田嘉明氏

現在鐵道省では一哩以上の長隧道六ヶ所を直營及び直轄工事に於て施工しつゝある。實に日本に於ての隧道黄金時代と云ふべきである。而して此等の隧道では種々なる研究と實行とが試みられ、工事擔當の技術者も比較的純潔なる研究心を以て熱心に事に當れる爲め成績も大に見るべきものあるに至つた。

橋本工事課長の昨年末の視察談によれば四國の猪の鼻隧道は目下ボトムヘディングにて毎日十一尺位づゝ掘鑿進行をなし然も工費は一立坪當り九圓であると云ふ其他盛岡建設の飛鳥隧道は一ヶ月四百尺乃至五百尺の進行を見、東京建設の清水隧道は又一ヶ月四百尺の進行を見つゝあると云ふ。前

年余が此兩隧道を視察したる時に比較すれば其掘鑿進行尺に於て大なる進歩である。

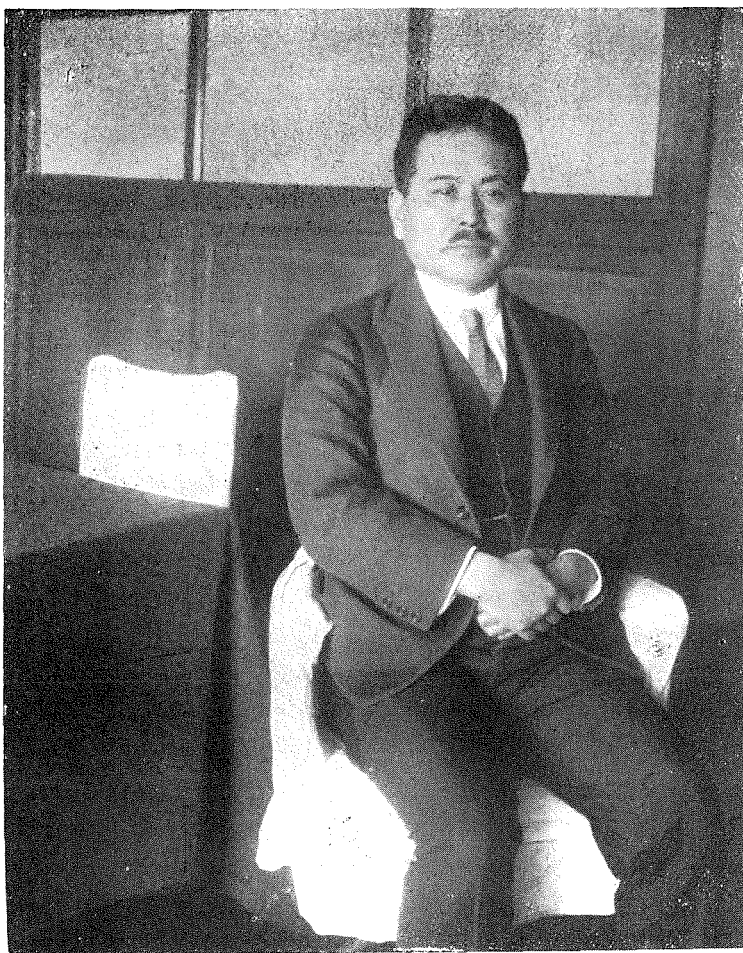
八田建設局長は大なる自信を以て曰く、今や我鐵道

省の隧道工事も歐米のそれに比較して敢て劣らないものである。此所數年の間には我々の隧道工事も總てが統一的に大成して歐米以上の工事能率を擧げ得るものであると。記者も屢感である。記者は八田局長が主催

者たる第一回の隧道會議を見て實際に價値ある未曾有の催であると喜んだ。而して其會議のために如何に多くの刺戟を各方面の隧道工事擔當者に與へた事であらふ。

十

隧道會議は近く第二回、第三回を開催するとの事である。多年暗黒の内に没却されて顧みられなかつた隧道工事が八田氏の先導によつて日本人の獨創的技術が大成されつゝある事は世界に向つての我



Mr. Y. Hatta, The Director of Construction Department of I. G. R.

日本の大なる誇であると信ずる。

— 〇 —